

知って得する
住まいづくり情報

知得

しっとく
12

困ったら
蓄電すべし

電力自家消費の時代／蓄電池・V2H

40,000円かかった！35,000円かかった！

この冬、電気料金に驚かれた方の話をよく耳にします
一方、15,000円で済んだ！5,000円だった！
といった声もあり大きな違いがあるようです。

実際電気料金は、この12月～2月は値上がりのピークで通常の消費電力に
燃料費調整額という名目で12月¥11.04/kwh、1月¥12.30/kwh、
2月¥12.51/kwh、3月¥11.28/kwhも加算されていたのです。

時期も一般家庭では1年で最も消費電力の多くなる季節なのに

多くの方は知らないうちではないでしょうか！

そうした中でも、その違いを調べてみると（料金の）多くかかった方は、安かったはずの深夜電力
を多く消費されていたケースが目立ちます。エコキュート、食洗機は深夜が当たり前で、その上寒が
りで夜の間エアコンなどの暖房をつけっぱなし、あるいは深夜蓄熱タイプの暖房などの例があります。
燃料調整費はどの時間帯にも同じように加算されていますから、安いはずの深夜は倍増している計算
になり、オール電化で深夜割合の多い家庭ほど値上がりは大きくなっています。

一方、それほどかからなかった例では、10kwぐらいで太陽光の余剰電力が多く、値上りを考慮
してこの余剰を最大限使うパターンです。エコキュート、食洗機など日中に行い、暖房も日中をメイン
にされたりしています。熱容量の大きな外断熱なら日中温めて、夜間止めてもある程度の温度はキープ
できるはず。こうした使い方での夜間の消費を最小限にすれば、料金値上げの影響も限定的に抑
えることが可能です。この燃料調整費は3か月間の平均燃料価格を元に3か月先の単価を決めていて
例えば、5月1日現在、1～3月の平均燃料単価を元に6月の単価まで公表されていますから前もって設
定を昼間型にするのも料金対策には有効です。

2月分からは政府補助があり負担が軽減されていますが、9月以降負担率を段階的に下げる方針で
為替や原油価格などによっては今年の冬も電力料金高騰になりかねません。

そこで！
太陽光発電を最大限自家消費で

これまで深夜電力は¥16/kwh程度でお得でした。
ところが燃料費調整額で知らぬ間にこの冬¥28/kwhに

太陽光の余剰買取価格は、年々下げられ¥16/kwhに！つまり16円で売るより、夜間使うことで
28円をタダにしたほうがお得なのでは？という時代になったのです。但し、夜間使うには蓄電池を
設置する必要があり、さらに効率を上げるには蓄電池+A1ということになります。そしてここ数年
蓄電池の寿命とA1技術の進歩で導入のメリットはかなり大きくなりました。

太陽光を自家消費優先モードにしたり売電優先モードで運転したり、ネットに接続すれば天気予報
と連動させて効率的に蓄電したりといったことができるようになってきました。

卒FITの方には一層お勧め
太陽光と蓄電池のパワコンは併用できる

太陽光の買取期間が終了された方、10年経過で
パワーコンディショナーもそろそろご検討の時期

太陽光設備が10年経過されるとFIT制度の買取期間が終了します。その後も売電はできますが条
件はかなり厳しく¥9/kwh程度になり、更にパワコンもそろそろ交換時期？になります。

蓄電池導入のGoodタイミングといえます。

なぜなら蓄電池と太陽光パワコンは兼用できるからです。

次回につづく